

Ⅲ 平成17年度予算の状況

① 平成17年度予算のポイント

- 北九州市ルネッサンス構想の総仕上げ、公約の着実な実行予算
- 新たな歩みを進め、安全、安心の市民生活を充実する改革・展望予算
- 北九州流マニフェスト予算の本格実施
- イベント事業等の予算を局から区へ試行的に移譲

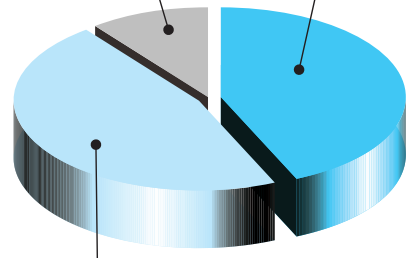
② 平成17年度予算の概要

北九州市の予算は、一般会計、普通特別会計、企業会計の3つに区分されており、この3つを合わせてみることによって、市の行政全体の概要が分かります。

●企業会計 1,247億円

上水道事業など、事業を行うために必要な経費を、サービスの利用者から徴収する料金で賄うことを基本とする事業について、一般会計と区分して経理する会計です(5会計)。

上水道事業	314億円
工業用水道事業	46億円
交通事業	31億円
病院事業	287億円
下水道事業	569億円



●一般会計 5,293億円

福祉、教育、道路・公園の整備、ごみ収集など、本市が行う基本的な事業に関する経費を計上する会計です。

保健福祉費	1,536億円
産業経済費	714億円
土木費	596億円
総務費	376億円

●普通特別会計 5,584億円

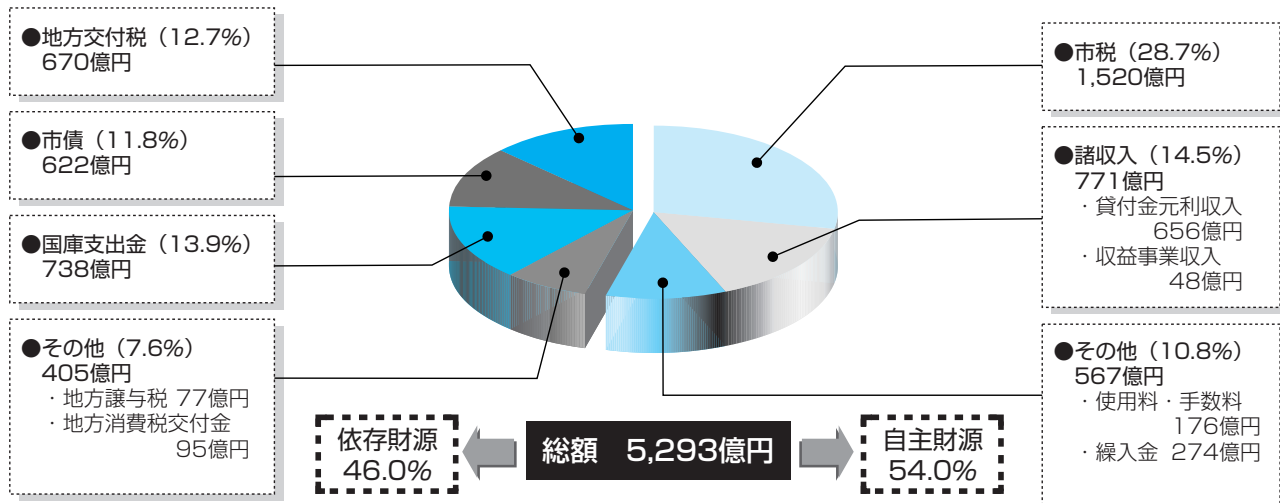
国民健康保険など、特定の収入(保険料など)を得て行う事業について、収支を明確にするため、一般会計と区分して経理する会計です(23会計)。

国民健康保険	1,064億円	公債償還	1,506億円	介護保険	632億円
競輪、競艇	924億円	老人保健医療	1,176億円	学術研究都市土地区画整理	28億円
港湾整備	124億円	廃棄物発電	26億円	臨海部産業用地貸付	35億円

③ 平成17年度一般会計予算の内訳

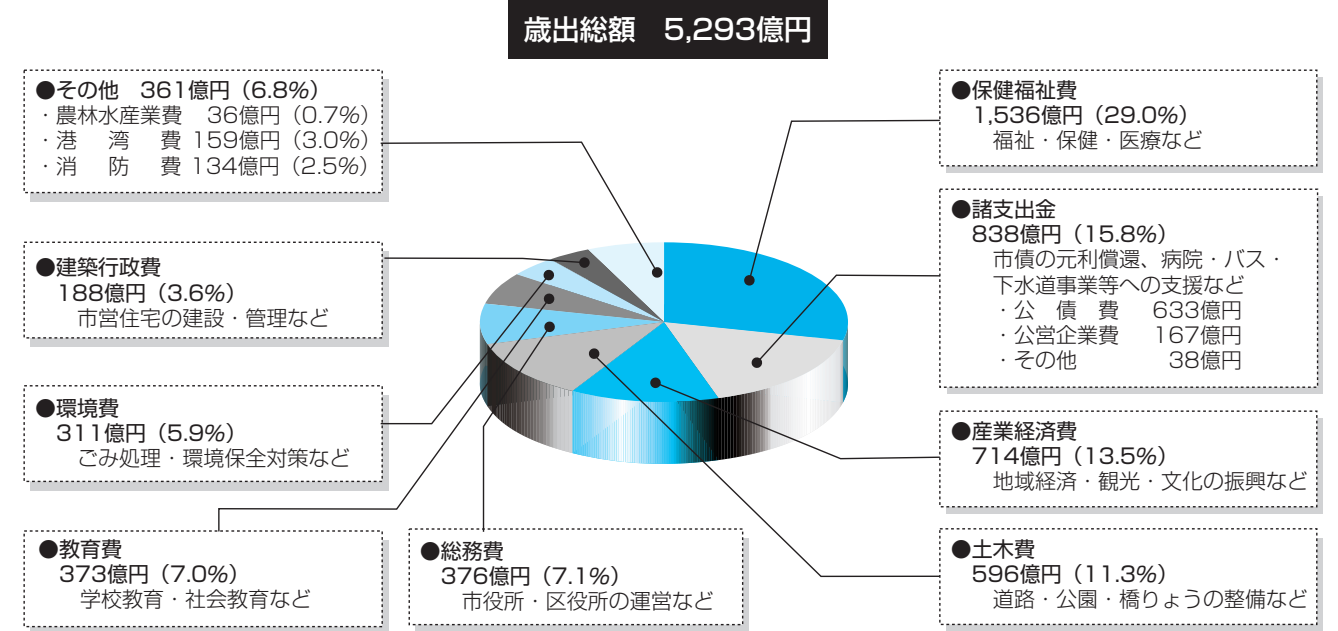
(1) 歳入

北九州市では、市民生活の向上を目的として様々な業務(施策)を行っていますが、そのためには「歳入(1年間の市の収入)」が必要となります。「歳入」の内訳をみると、市民税や固定資産税などの「市税」が収入全体の約3割を占めており、重要な財源となっていることが分かります。



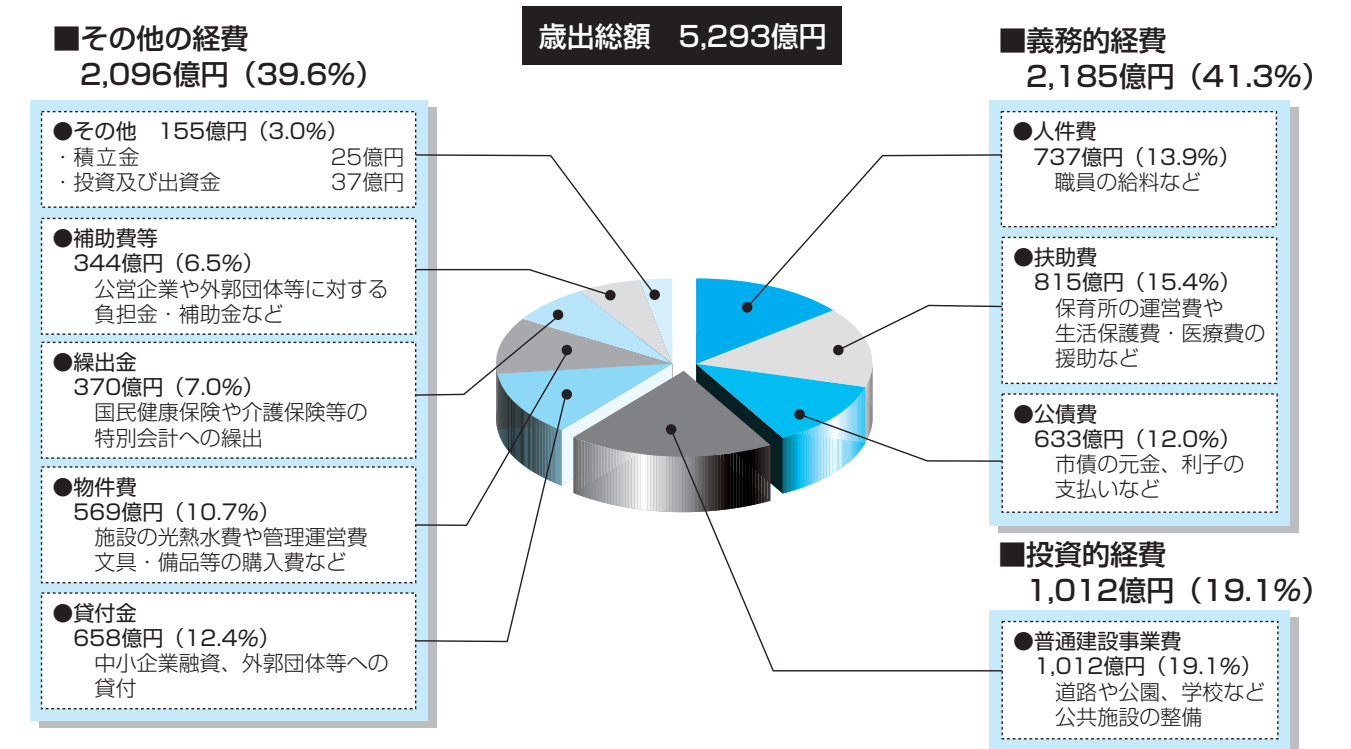
(2) 歳出(行政目的別)

予算では、福祉や教育、道路・公園の整備など、用途(行政目的)ごとに、どれだけのお金を使うかを定めています。行政目的別の分類によると、北九州市の予算がどの分野にどれだけ配分されているかがわかります。



(3) 歳出(性質別)

予算は、行政目的別だけではなく、人件費や物件費など歳出の性質に着目した分類(性質別)からみることが出来ます。性質別の分類では、法令等により支出が義務づけられている経費(人件費、扶助費、公債費)、将来へ向けた資産形成を行うための投資的な経費(普通建設事業費など)、その他の経費(物件費、貸付金など)に区分し、その構成割合をみることにより財政構造を把握することができます。



4 平成17年度予算の主要事業

新たな歩みを進め、安心・安全の市民生活を充実する改革・展望予算

■市民生活に安心と活気を吹き込む施策

「世界の環境首都」の創造

平成16年度に策定された「グランドデザイン」の基本理念である「真の豊かさにあふれるまちを創り、未来の世代に引き継ぐ」ことを行動基準に位置付け、市民、NPO、企業、行政などが協働し、「世界の環境首都」を目指します。

(単位：千円)

・北九州市環境首都創造事業	18,000
・北九州市環境人財育成総合計画推進事業	13,000
・各区における(仮称)「北九州の玄関」 クリーンアップ事業	169,735
・(仮称)新・新門司工場建設事業	14,135,000

安全・安心なまちづくりの確立

暴力追放、防犯活動など、市民生活の安全確保、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、施策の充実・強化を図ります。

・地域防犯対策事業	59,400
・地域安全ガーディアン・エンジェルス協働事業	6,300
・児童生徒の安全確保のための防犯ブザー購入補助	20,000
・マンモグラフィを導入した乳がん検診	83,900

主体的、自立的な地域づくりの促進

さまざまな地域課題に取り組んでいる地域コミュニティ団体や専門性を活かした公益活動を展開しているNPO・ボランティア団体の活動を支援するとともに両者が得意分野を活かしながら主体的・自立的な地域づくりを行えるよう各種の施策を実施します。

・地域総括補助金	76,600
・市民センター整備事業	765,545
・市民活動保険	8,900
・道路サポーター事業	15,000
・区の新たな魅力づくり事業	45,900

総合的な少子社会対策の推進

北九州市次世代育成行動計画に基づき、子育て中の人や子どもを持つことを望む人が直面する「出産や子育てへの不安・悩み・負担感」に対応するため、幅広い視点から安心して子育てできる環境づくりを進めます。

・(仮称)子育て支援プラザ整備事業	1,135,000
・乳幼児医療費支給制度の拡充	1,397,000
・特定不妊治療費助成事業	41,000
・障害児の長期休暇対策モデル事業	1,000
・障害児放課後サポートクラブ事業	32,000

地域経済の活性化と中心市街地等の賑わいづくり

「北九州市モノづくり産業振興プラン」に基づき、地域を支える中小企業の経営革新を支援し、次世代産業の育成やベンチャー企業の育成を図り、新たな産業活力と雇用の創出を目指します。

・産業クラスター形成促進事業	7,000
・中小企業資金融資	47,053,000
・総合的な若年者雇用対策の推進	91,000
・門司港地区観光車両運行事業	50,000
・紫川親水空間施設整備事業	95,000

市民生活に密着した環境整備の充実

市民の声を生かした施策を推進し、生活環境や住環境を改善することにより、市民にとって暮らしやすいまちをつくります。

・生活幹線道路の整備	1,121,000
・優良賃貸住宅供給支援事業	808,500
・公共交通促進事業	110,000
・北九州市住まい支援事業	69,000

明るい展望を拓くソフト施策等の推進

「このまちに住んでよかった」「このまちに住んでみたい」と思われるような、市民が明るい展望をもてる事業を展開します。

・知的障害者通所授産施設の整備	140,000
・生涯現役能力開発大学校事業	12,000
・「教育の北九州方式」の構築	3,000
・アニメ文化振興に関する調査	5,000

■今後の本市の飛躍へ向けた布石となる施策

新北九州空港や響灘大水深港湾の活用促進

本市の将来を担う重要な施設であり、また、地域経済活性化への起爆剤となる新北九州空港（平成18年3月16日開港）や響灘大水深港湾（ひびきコンテナターミナル、平成17年4月供用開始）について、その機能を最大限活かす施策を展開します。

(単位：千円)

・新北九州空港の整備、PR、利用促進	
新北九州空港PR推進事業	240,000
新北九州空港エアポートセールス事業	68,000
・響灘大水深港湾の整備、利用促進	
北米・欧州航路開設の促進	129,000
若戸大橋のコンテナ車通行に対する誘導策の試行	13,000

未来を見据えた都市基盤の整備

活力ある大都市としての都市基盤整備を推進するとともに、高齢者や環境にやさしい、高質で快適な住環境の整備を推進するなど、魅力ある生活空間を創出するための各種施策を総合的に進めます。

・東九州自動車道の整備促進	555,847
・北九州都市高速道路の整備促進	1,469,500
・副都心関連道路の整備	2,187,000
・北九州学術研究都市北部土地区画整理事業	2,560,000
・折尾地区総合整備事業	2,978,000

将来を支える人材の育成と新規産業の創出

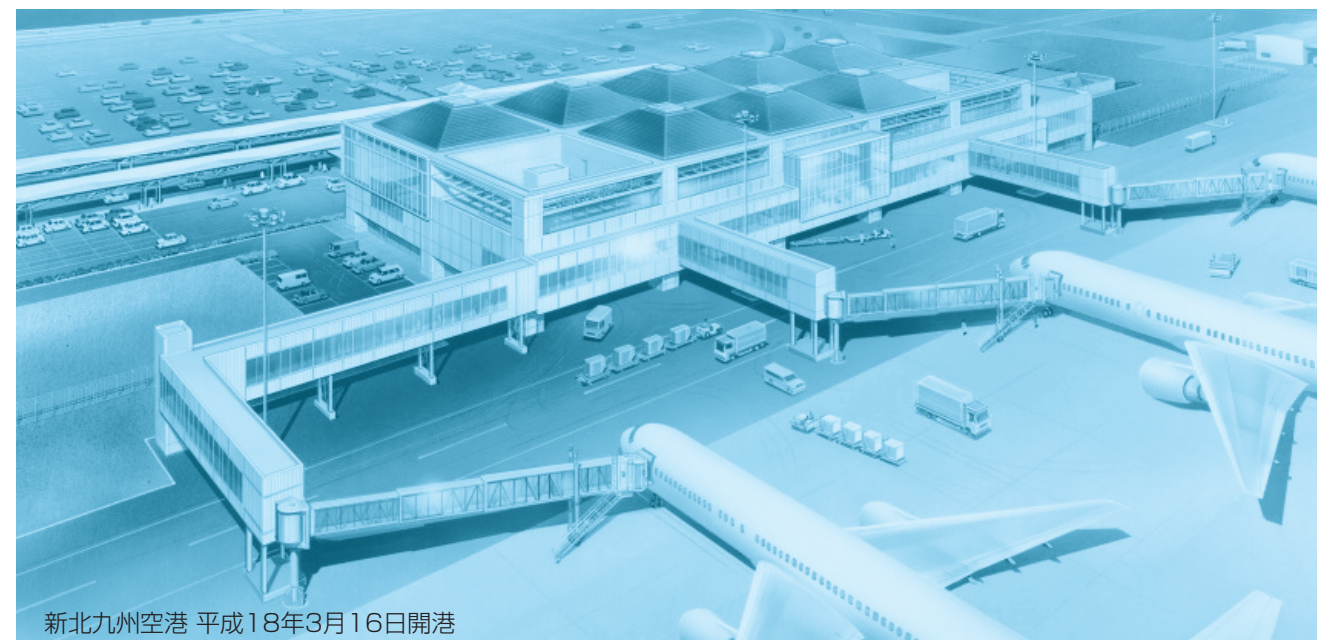
先端技術、優れた技能、環境分野等の担い手となる人材を育成するとともに、新製品・技術の開発や実証研究を促進し、ベンチャー企業の育成や次世代産業の創出を図ります。

・公立大学法人北九州市立大学運営事業	2,543,000
・ロボット産業振興事業	54,000
・バイオ産業振興事業	3,000
・地上デジタル放送利活用推進事業	5,000

都市経営の視点に立った施策の推進

本市が、厳しい社会・経済環境のもと、21世紀において健全で活力ある地域経済を実現するため、都市経営の視点に立った新たな行財政システムを構築し、持続的な都市経営を可能とする各種施策を展開します。

・(仮称)北九州市コールセンター開設事業	79,000
・門司港レトロ地区産業観光施設指定管理者制度導入事業	187,000
・国際物流特区企業集積特別助成金	2,767,000
・臨海部産業用地貸付事業	3,384,000



新北九州空港 平成18年3月16日開港